



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和5年10月3日発行
10月号

後期の始まりに当たって

校長 井上 美保

10月になりました。後期の授業の開始です。

夏季休業明けのスタートから生活のリズムが整い、多くの生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれます。朝夕のバスの乗り降りの際には、「お先にどうぞ」と声をかけてくれる生徒もいます。公共のマナーを守り、思いやりのある心で人に接することは、周囲の人たちにも良い影響を与えます。校内だけではなく、公共の場ではさらに周囲に気を配りながら生活していけると良いですね。南大沢学園の生徒は、特別支援学校の生徒の模範となれるよう心掛けていきましょう。

さて、コロナ5類以降、生徒による自主的な判断による感染対策を行ってきた本校ですが、厚生労働省によると、9月10日までの週に「全国およそ5000もの医療機関から報道された新型コロナの感染者数は、9万9744人」とのこと。さらに、インフルエンザの罹患者は2万2111人だそうで、今までの生活を少し改める時期が来ていると言わざるを得ません。マスクの着用や頻繁な換気、日々の手洗い、うがい、消毒などを改めて強化するなど、自分自身の感染対策を徹底してください。

後期は校外学習や修学旅行、学園祭など多くの行事が予定されています。健康管理は、日頃の規則正しい生活やバランスの良い食生活から成り立ちます。楽しみにしていた多くの行事が、制限のあるものとならないよう、一日一日、充実した学校生活を送るためにも、基礎・基本となる健康管理を自分自身でしっかり行っていきましょう。

後期の授業の開始に当たり、生徒たちの成長を確かなものとして実感できる時があります。給食時には食堂前に並ぶ生徒の様子が気になり、足を運ぶことが多くなりました。

おしゃべりが多く落ち着かなかった一年生も、学校生活の中で守るべき規律が定着してきたなど思うことがあります。やらされ感ではなく、生徒自身が必要性を実感できることが多くなったのでしょう。

これからも、模範となる態度で学校生活を送れることを期待します。



基礎基本をもう一度

主幹教諭 小嶋 利信

後期が始まりました。前期を振り返り、次のステップへのスタートです。3年生は、就職内定に向けて、とても大事な時期となりました。そこで皆さん、半年後をイメージしてみてください。3年生は、就職が決まり社会人へ、2年生は、最高学年となり南大沢学園のリーダーへ、1年生は、後輩が入学し先輩となります。全員がステップアップします。そのために後期は非常に大事な時期となります。前期の学習を通じて身に付けたことは継続し、課題となったことは改善して行ってほしいと思います。そのために、もう一度、生活の基礎・基本を考えてみましょう。仕事するには、「職場には、休まず、遅れず出勤し、勤務時間内は仕事に集中すること」が当然になります。休めば収入は得られません。体調不良などでやむを得ず休むことがあるかもしれませんが、できる限り休まず勤務することが大切です。では、このことを学校に置き換えて考えてみてください。【「学校には、休まず、遅れず登校し、授業中は学習に集中すること」が当然になります。】となると思います。このことを考え、前期で学んだことを生かしながら、もう一度、以下の基礎・基本を実践してください。

○基礎・基本【・行動：具体的な取り組み⇒社会や企業の見方】

- ・休まず：規則正しい生活をする。⇒自己管理ができる人
- ・遅れず：時間を守る。⇒計画的に行動できる人
- ・集中する：一生懸命に取り組む。⇒役割をまかせられる人
- ・あいさつをする：自分からあいさつをする。⇒コミュニケーションがとれる人

また、「南大沢スタンダード」の活用や「4S」により、落ち着いた安全・安心な環境を整えることで、全員が思い描いた姿へステップアップしてほしいと思います。先生方も、皆さんがステップアップできるように、「南大沢 UD」を意識して応援していきたいと思います。

後期、燃えて突き進もう!!!